

第 4 回水稲病害虫発生状況の調査結果について

兵庫県農業共済組合佐用事務所
JA 兵庫西佐用営農生活センター
光都農業改良普及センター
令和 6 年 8 月 21 日

1 気象状況

7 月下旬から 8 月中旬までは記録的な猛暑となり、気温は平年より高くなりました。気象庁による今後 1 ヶ月間の予報でも平年より高くなると予想されています。7 月下旬以降の降水量は非常に少ない状態でしたが、地域によって夕立となることもありました。現在南東で台風が発生しており、今後の気象状況や台風の進路に注意してください。

2 調査結果（調査日 8 月 19 日）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病	一部のほ場で、発生が確認されました。
紋枯病	調査ほ場では、発生が確認されませんでした。
ウンカ類	例年に比べ発生数が多いのでご注意ください。
ツマグロヨコバイ	一部のほ場で、発生が確認されました。
カメムシ類	複数の調査ほ場で発生が確認されました。

(1)カメムシ類

今回調査を行ったほ場で、特にイネを好んで加害するカメムシ類の発生が確認されました。他の水田ほ場でも極早生品種の出穂したほ場を中心にカメムシ類の発生が見られています。今後 1 ヶ月の予報によると気温が平年より高くなるため、斑点米カメムシ類の増殖に好適な条件となります。カメムシの発生が多いほ場は、出穂後の防除が必要です。

(2)ウンカ類

今回調査を行ったほ場では、トビイロウンカ（秋ウンカ）の発生確認はありませんでしたが、ヒメトビウンカ、セジロウンカの発生は例年に比べ増加しています。今後 1 ヶ月の予報では気温が平年より高く、ウンカ類が増殖しやすい条件が整っていますので、今後の発生に注意しましょう。

また、兵庫県農林水産技術総合センター（加西市）の予察灯において、坪枯れを発生させるトビイロウンカの飛来が確認されています。今後の台風の進路や風向によって、さらなる飛来の増加が考えられるので、特に刈取り時期が遅い品種は十分に注意するようにしましょう。

3 これからの管理について

気象庁の 1 ヶ月予報では気温は平年より高くなる見込みです。極早生品種では刈り取り適期を逃さないように籾の黄熟程度をよく見てください。また、今後降水量が増える見込みですが、収穫作業を見越しての極端な早期落水は粒張りの悪さや登熟不良による品質低下を招きますので注意してください。